

# 7月医療安全ニュース

2021年7月14日 あおもり協立病院 医療安全管理室

いつもインシデント入力して頂き有難うございます。

今回のテーマは・・・

## 「MRI造影説明・同意書」

## 7月より新規導入しました。

地域連携室からのインシデントで「造影MRI検査を予定した患者様に休薬しそうになった」という事例が提出されました。

・・・？どうということ？

事例を読み解いていきましょう。

- ①他院からの紹介で当院での造影MRIを予定した
- ②患者様は糖尿病を患っており、ビグアナイド系の薬を服用していた
- ③当院の造影説明・同意書では、ビグアナイド系薬は休薬の必要があると記載している
- ④MRIでの造影剤は、ビグアナイド系薬には影響を受けない
- ⑤上記内容を明記している文章がないため、危うく患者様に休薬を強いるところだったという内容でした。

薬剤の視点で見てもみましょう

放射線での造影検査は、主としてヨード製剤と呼ばれるものを使用しています。このヨード製剤とビグアナイド系の薬を混在させてしまうと「乳酸アシドーシス」を起こす可能性があります。乳酸アシドーシスとは、「ブドウ糖がエネルギーとして利用される際に、酸素供給が十分でないときに乳酸という物質が血液中に放出されます。この乳酸が多くなりすぎると血液が酸性に傾き、乳酸アシドーシスとなる」緊急度が高く危険な状態といわれています。なのでヨード製剤を使用する際にはビグアナイド系薬は休薬する必要があるのです。

一方MRIで使用する造影剤はガドニウム製剤と言われており、ヨードは含まれていないのでビグアナイド系を休薬する必要がありません。

???

当院で使用している造影説明の同意書は1種類しかない。

じゃあ、MRI用の造影説明と同意書を作成しよう！

という流れで、



## MR I 用の造影説明同意書を作成しました！

### ガドリニウム製剤を用いたMR I 造影検査の説明・同意書

説明月日：2021年 月 日

ID：.

氏名： 様

#### MR I 造影剤について

◆MR I 検査の際に血管内に注射し、より詳細な病気の診断を行うための薬です。MR I 検査では通常「ガドリニウム造影剤」を使用します。（検査内容によっては飲用の造影剤を使用することもあります。）

#### MR I 造影剤副作用について

現在のところ副作用の発生を正確に予知する手段がありません。過去に造影剤でアレルギーの既往がある方、薬や食物アレルギー、ぜんそくのある方などの場合、副作用の発生率が高くなると言われています。

◆軽い副作用について（頻度は1%未満）

かゆみ、発疹、発赤、悪心、吐き気、嘔吐、くしゃみ等です。

◆重い副作用について（頻度は0.01%以下）

呼吸困難、意識障害、血圧低下、けいれん等です。このような副作用は入院が必要で、場合によっては後遺症が残る可能性があります。

重篤な腎障害がある方では、発生頻度は不明ですが数年後に皮膚の硬化や関節の拘縮等が発生することがあります（腎性全身性線維症）。

◆遅延性副作用について

ごく稀に検査後1時間から数日たってから頭痛、吐き気、かゆみ、発疹等の症状が発生することがあります。

◆その他

・個人差がありますが、まれに造影剤が血管の外に漏れ痛みを伴うことがあります。漏れた造影剤は時間とともに吸収されていきますが、漏れた量が多い場合には処置が必要となる場合があります。

・検査後（造影剤投与後）は水分補給を行い、造影剤の速やかな排泄を促してください。

・授乳中の方は母乳にこの薬剤が含まれるので、24時間は授乳を避けてください。

＊検査中・検査後、体調不良を感じましたらすぐスタッフへお知らせください。

帰宅後であれば病院にご連絡ください。

連絡先：あおもり協立病院 726-5500（代）

造影検査の説明と副作用を上記の記載通り説明しました。

2021年 月 日

担当医師 あおもり協立病院 \_\_\_\_\_

造影検査を受けることに同意します。

また、副作用が現れた場合は、必要な処置を受けることに同意します。

署名 \_\_\_\_\_

代理人署名 \_\_\_\_\_

（続柄 \_\_\_\_\_）

（ご本人がサインできない場合に記入して下さい）

インシデントから標準的な同意書作成に結びつきました。

気が付いてくれたスタッフに感謝です。

\* インシデントから業務改善に繋がります。

みんなの力で患者安全を推進していこう！

ありがとうございました。

